古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石　後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３４７７号
発行令和２年１２月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２５－２２２５

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

コロナの納体袋増産あり

ウイルス遮断し遺体密封

「納体袋」コロナで増産

ウイルスや液体を完全密封できる透明の袋と、丈夫なグレーの袋を組み合わせて使うことが多い川尻工業の納体袋（阿部裕行撮影）

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、札幌市白石区の医療器具販売「川尻工業」（川尻祥明社長）が開発した「納体袋」が、全国の自治体や病院の注目を集めている。遺体を納め、ウイルスや空気を通さない特殊な構造が、医療関係者や葬儀業者の感染防止に効果的だと評価され、12月は既に例年の4倍近い3千枚の注文があった。川尻社長は「医療現場などの不安解消に少しでも役立ちたい」と話している。（内山岳志）

納体袋は元々、検視や司法解剖が必要な遺体の搬送や保管のため、警察や大学病院などで使われてきた。全国でも数社しか製造しておらず、川尻工業は2010年に警察関係者からの依頼を受けて開発した。

空気や液体を完全に密封できる透明のポリエチレン製の袋に遺体を納め、耐久性が高い塩化ビニール製のグレーの袋を上から重ねて使うことが多く、注文数などに応じて1枚2千～3千円で販売。例年の注文は2種類の袋を合わせて月800枚ほどだった。

厚労省が方針

厚生労働省は今年2月、新型コロナで亡くなった人の遺体は「全体を覆う非透過性納体袋に収納・密封することが望ましい」との方針を示した。ウイルスを通さず死者のプライバシーにも配慮できる納体袋は「ウイルスを拡散させずに搬送できる」と評価され、注目が高まった。

川尻工業への注文も急増しており、3月29日にコメディアンの志村けんさんが新型コロナで死亡し、遺体の搬送時の感染対策に世間の関心が集まった際にも「1日400件の問い合わせがあった」（川尻社長）という。

月3千枚限界

同社にはこれまでに札幌市のほか、神戸市や福岡市など全国約20の自治体から注文があり、病院などで使用されている。従業員総出で増産しているが、接着など手作業の部分も多く、月3千枚程度の製造が限界で、現在は医療機関や自治体に限って注文を受けている。

川尻社長は「注文数は新型コロナ感染者の死亡数に直結しており、怖さを実感している。二次感染を防ぐため、安定供給に最善を尽くしたい」と話した。

緊急リポート

夕張リゾート破産の衝撃 ㊦

迷走の果て 急転直下

【夕張】夕張のランドマークとも言えるホテルマウントレースイやスキー場などを運営する夕張リゾート（夕張）が、近く破産申し立てを行うことを決めた。昨春、中国人オーナー企業から香港系ファンドに経営が代わったばかりだが、コロナ禍で急転直下、廃業に追い込まれた。地域経済への打撃は計り知れず、全国唯一の財政再生団体である夕張市は再び試練にさらされる。（志村直）

廃業表明から一夜明けた25日、同ホテルの玄関前は雪が高く積もり、人が出入りした形跡はなかった。

前日の24日午前、建物脇の通用口から厚谷司市長らが中に入った。同社は16日に来春までの営業休止を発表したが「予約をキャンセルしたいのにホテルと連絡が取れない」との苦情が市に寄せられたため、誠実な対応を求めに米沢傑総支配人に会いに行った。だが米沢氏が市長に伝えたのは予想外の言葉だった。「お越しになったのでこの場でお伝えします。夕張リゾートは破産を決めました」

「やっぱりな」

厚谷市長と米沢氏は夕張北高の同級生。信頼していた相手からの突然の報告に市長は「来春までの休止と言っていたのに」と動揺したが、市内では「やっぱりな」という冷静な見方が広がった。同社が施設運営を始めた昨年4月以降、経営で迷走を続ける様子が市民に伝わっていたからだ。

訪れる人がいないまま、雪が積もった状態となっているホテルマウントレースイ

親会社の香港系投資会社「グレートトレンド」から送り込まれた香港出身のスティーブ・チェン社長（当時）は昨年10月、北海道新聞のインタビューで、ホテルの隣接地に温泉付き高級宿泊施設を建設する計画を表明。訪日外国人客などの取り込み強化を目指したほか、以前の中国人オーナー企業時代にはなかった「顔の見える企業」も目指し、茶会といった市民参加型のイベントをロビーで開催するなどの改革を進めた。

顔見えぬ企業

しかし、宿泊者数は思うように伸びず、グレート社は昨年12月にチェン社長を解雇。グレート社のオーナーを兄の黎潤綿氏と共に務める弟の黎潤能氏が夕張リゾートの社長に就いたが、表舞台に姿を見せず「トップがすぐ変わる。えたいの知れない企業だ」と不信感を持つ市民が増えた。

厚谷市長も26日の会見で「（弟の）黎氏に会ったことはある」としながらも、連絡を取り合える関係ではないことを認めた。

黎氏はコロナ禍を理由に今年3月、スキー場を突然閉鎖した。国などの緊急事態宣言が解除され、感染状況が小康状態になっても、お盆の一時期などを除いてホテルを開けることはなく、従業員を次々と解雇。市民の間では「全国どこのホテルも頑張って営業を再開させている。休業とコロナにどれだけの関係があるのか。再開させたくても従業員が集まらないだけでは」といぶかる声が上がった。

観光と雇用に「打撃大きい」

市長が会見

【夕張】夕張市内でホテルやスキー場を運営する夕張リゾート（夕張）が、近く破産申し立てを行う方針を示したのを受け、厚谷司市長は26日、市役所で会見を開き「観光への打撃は大きい。雇用への影響は少なくない」と述べた。

厚谷市長によると、同社が運営するマウントレースイスキー場の2019年度の利用者数は5万8千人、ホテルマウントレースイなど3宿泊施設の利用者数は計8万1千人。

夕張市の中核施設の破産について厚谷市長は「夕張130年の歴史は（炭鉱閉山や財政破綻など）苦難の時期があり、今回もしっかり前を向いて対応していく決意だ」と強調。同社の負債総額などは把握しておらず「先方の弁護士から連絡が来るのを待っている」と話した。

同社は、新型コロナウイルス感染拡大を理由に3月から休業していた。今月16日には来春まで営業を休止すると発表していたが、24日にホームページで破産する意向を明らかにした。（志村直）

成し、世界中に物件を所有しているとアピールした。従業員も「うちの経営は安泰だ」と安心していた。

だが実態は火の車で、経営末期には営業再開近辺の理由をボイラーの故障とするなど説明に一貫性を欠くようになる。ある元従業員は昨年、香港に夕張リゾートのプロモーションに行った際、グレート社に顔を出した時のことが忘れられないという。「古い雑居ビルの一室で、ここがわれわれのオーナー企業の本拠地かと、がくぜんとした」。24日の廃業表明は、そのメッキが剝がれた瞬間だった。

◇

〔下〕は27日朝刊6面に掲載する予定です。

札幌の製造会社 全国から注文４倍

イルスを拡散させずに搬送できる」と評価され、注目が高まった。

川尻工業への注文も急増しており、3月29日にコメディアンの志村けんさんが新型コロナで死亡し、遺体の搬送時の感染対策に世間の関心が集まった際にも「1日400件の問い合わせがあった」（川尻社長）という。

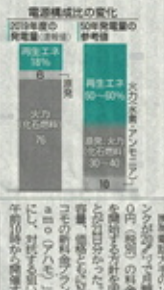
月3千枚限界

同社にはこれまでに札幌市のほか、神戸市や福岡市など全国約20の自治体から注文があり、病院などで使用されている。従業員総出で増産しているが、接着など手作業の部分も多く、月3千枚程度の製造が限界で、現在は医療機関や自治体に限って注文を受けている。

川尻社長は「注文数は新型コロナ感染者の死亡数に直結しており、怖さを実感している。二次感染を防ぐため、安定供給に最善を尽くしたい」と話した。

再エネ発電量の5～6割に

経産省、30年後の参考値案



ソフトバンクも2980円

20㌐きょう発表 ドコモに対抗

首相 5人以上の会食11月4回 ■首相の「誤解」発言擁護 閣僚

感染リスク 政権薄い危機感

専門家 間違い認め軌道修正を

米、中国ドローン禁輸

世界シェア7割のDJI

関越道、立ち往生解消

大雪の新潟で52時間ぶり

3日で積雪2㍍超え

「断らない相談」一本化

子育て、介護複合支援